

This is Me! これが自分だ

教育大綱を改定

町では、地域全体で目指す教育の姿をまとめたものとして、子どもたちの成長を支える指針となり、教育に関するさまざまな施策の根拠となる教育大綱を定めています。

この度、町の教育方針を、子どもたちや教員だけでなく、住民の皆さんにも「自分ごと」として捉え、実践していただけるものとなるよう改定いたしました。

子どもたちが自己肯定感と自己効力感を高め、多様性を尊重しながら、未来を自ら切り開く力を育んでいけるよう、町、教育委員会、学校、幼稚園、そして地域全体で連携して取り組みを進めていきたいと考えています。

子どもたちや先生の意見を反映

令和6年度から、教育大綱の改定に取り組み始めました。改定にあたっては、直接影響を受ける子ども

たちや教員の意見を取り入れたい、共に考えていきたい、との思いがありました。

小中学生や教員へのアンケートを行うだけでなく、町長が直接学校に赴き、田原本町の未来についての出前授業を行う中で子どもたちの意見を受け取り、すべての学校で教職員に直接思いを伝えてきました。その中でいただいた意見が、この教育大綱には反映されています。

子どもたちを育むためにできること

私たち一人一人が、さまざまな形で子どもたちの成長に関わっています。立場もできることも異なりますが、それぞれの立場で、どのように子どもたちの成長に関わればいいのか。この教育大綱が、いま一度、そして継続的に考えていただくための指針となることを願い、私たちも取り組んでまいります。

町長メッセージ

教育は誰のためにあるのかと問うたときに、それは、全ての住民の皆さんのためであり、特に子どもたちのためであります。

子どもたちのための教育を中核とした本大綱の基本理念に掲げる「This is Me!」は、「これが自分だ」と自分を肯定する言葉であり、今あるそのまの自分を肯定することこそが、更なる成長や幸福度の向上に繋がるのだと確信しています。

そして、我々大人の役割は、子どもたちに大人の夢を押し付けるのではなく、子どもたちの今ある姿を肯定し、あるいは子どもたちが描く夢を応援することではないでしょうか。子どもたちもそれを強く望んでいます。

本大綱には抽象的なことしか記述されていません。それらの抽象的な記述を実現するために私も全力で取り組んでまいります。具体的な教育は各学校の先生方や地域の皆さんの実践によってのみ表現されるものであります。全ての関係者の皆さんが、本大綱を「自分ごと」として捉え、実践いただけることを大いに期待します。



北中学校での授業の様子

図 教育総務課学校教育係 34・2074

教育大綱抜粋

基本 理念

This is Me ! 〈これが自分だ〉

～誰もが自分らしく生きるために、自分を大切にそして周りの人たちも大切に～

基本 方針

自己肯定感・自己効力感を高める教育

『自分にもできる』という気持ちを持って、何ごとにも積極的にチャレンジしようとする力を育てる教育。『自分はこんなこともできるのだ』と気づかせる教育。

多様性を尊重する教育

『みんなちがって、みんないいね!』を大切にする教育。違いを認め合い、周りの人となつな
がる力を育む教育。急激なグローバル化が進む中、異文化共生社会に対応できる力を育む教育。

目指す方向性

自ら考え、力を合わせる



自分で考え、自ら行動することは大切だが、1人の力には限界がある。周りの人と力を合わせ、そこから生まれる無限の力をいかそう。

だれもが学びやすい 環境をつくる



みんなが、楽しく学べること。そのために自分をよく知り、友だちのこともよく知って、お互いの気持ちを大切にしよう。仲間と協力し、誰もが安心して楽しく過ごせると思える場所をつくろう。

未来を創る力を育む



「なぜ。どうして。」という疑問にチャレンジしようとする気持ちを持ち、解決できたことに喜びと楽しさを感じよう。そして、その気持ちを明るい未来につなげよう。

成長を応援し、ともに育む 家庭や地域

やりたいことを
応援してくれる



あたたかく
見守ってくれる

国・学校・家庭はもちろん、いつでもどこでも学ぶことができる、地域ぐるみで安心して子どもを育てられる町にしよう。
すべての家庭が心のよりどころとしてのあたたかい家庭になるよう地域で見守り、応援しよう。

学びを支え、ともに成長する 学校や園

笑いが多く
夢中になれる



安心して
過ごせる

周りの人と力を合わせることで生まれるエネルギーに「すごい」と感じられる学校・園にしよう。
常に先生と子どもたちが学び合い、お互いが成長し続ける学校・園にしよう。

学校に関する取り組み紹介

問(1・2・5) 教育総務課学校教育係 ☎34・2074
問(3・4) 教育総務課教育施設マネジメント係 ☎32・2906

1 田原本町未来の学び 応援基金を設置

各学校への寄附が可能に

改定いたしました教育大綱の理念を踏まえ、学校でもそれぞれの取り組みを進めているところです。今後、学校からの提案などに基づくクラウドファンディングの実施や、各学校に対するふるさと納税を活用した寄附などを実施していく予定です。

これらの取り組みにより集まった資金や、中長期的な寄附や遺贈を受けたものを、基金として積み立てる

ことで、学校を主体とする機動性の高い教育活動に活用することが可能となります。

学校の取り組みや募集方法につきましては、今後、紹介してまいります。

町民の皆さんからの寄附も受付中

ふるさと納税を活用した寄附も可能です。返礼品はありませんが、学校を指定しての寄附は、町民の皆さんにも活用していただけます。ご協力をお願いします。



寄附の方法

- ①ふるさと納税ポータルサイトを選ぶ
- ②以下の条件でキーワード検索する
- ③学校を選ぶ

田原本町 学校 返礼なし



ふるさと納税のお申込み
(町ホームページ)

2 読解力向上 プロジェクト

電子書籍の導入

小学校4～6年生を対象として、約4800冊以上が読み放題の電子書籍「Yomokka」を導入しました。1人1台端末を活用し、いつでもどこでも本を読める環境を整えました。夏季休業前から利用を始め、7月末には1人平均約10冊読んでいます。児童からは「本に興味を持てるようになった」「こんなに面白い本があったのか」などの感想があがっています。

学校司書の巡回

学校司書が各校を巡回し、学校図書館の運営・整備などの支援を行っています。



3 学校快適化 プロジェクト

各小学校にウォータークーラー設置

各家庭から持参している飲料がなくなった際に、冷水を補充できるようにしました。

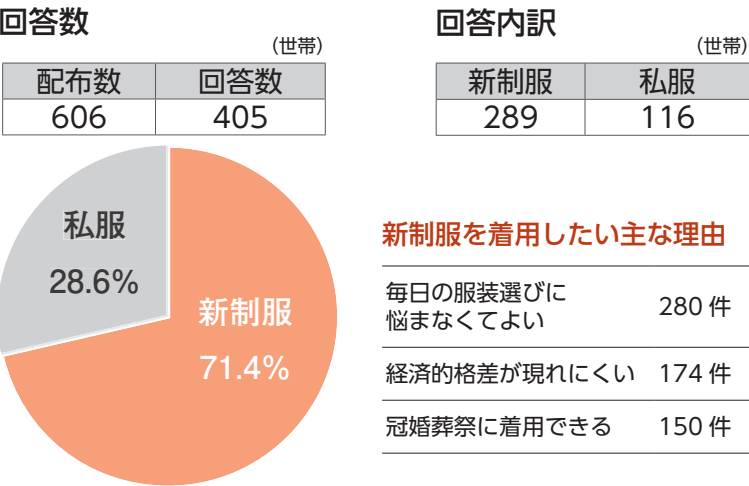
南小学校にエアコン設置

理科室にエアコンを新たに設置しました。また経年劣化により不具合が生じていた保健室のエアコンについても入れ替えを実施しました。



令和10年度までに
計画的・重点的な実施を予定
平野・南小学校の
●トイレ洋式化・乾式化
●特別教室へのエアコン設置

アンケート結果



今後のスケジュール(予定)

令和 7 年度	制服イメージの調査・研究など
令和 8 年度	制服イメージの決定、制服移行期間の決定など
令和 9 年度	制服決定、制服採寸開始、制服販売開始（令和 9 年度末）など
令和 10 年度	制服販売など
令和 11 年 4 月	まほろば小学校開校

アンケート結果により決定

5月から6月にかけて保護者を対象に、まほろば小学校における「制服・私服、体操服に関するアンケート調査」を実施しました。その結果、約71%の人が新制服の着用を希望し「毎日の服装選びに悩まなくてよい」

という意見が多く寄せられました。この結果を受け、令和11年4月開校のまほろば小学校では新たな制服を導入していくことと決定しました。今後は、多様性やジェンダーに配慮しつつ、制服検討委員会にて新制服のイメージや移行期間などの詳細を検討します。

4 まほろば小学校
新制服に決定！



中学校の部活動

	活動日	実施主体
令和8年3月 まで	月～日（祝日含む）	学校部活動
令和8年4月 から	月・火・水・木・金	学校部活動
	土・日・祝	地域クラブ

学校部活動が地域移行します

奈良県の方針のもと、令和8年4月より土・日曜日・祝日の学校部活動がなくなります。現在それに替わる活動として、地域クラブ移行の取り組みを、全国・県内の動向を注視しながら進めております。

5 休日の中学校の
部活動が変わります！

開講するクラブや場所・指導者・参加費などは、現在検討を進めており、方針がまとまり次第、改めてお知らせします。

地域クラブ移行の目的

- ・生涯にわたる多様なスポーツ・文化活動機会の確保
- ・地域と連携した持続可能な活動環境の充実
- ・教員の負担軽減と本来業務への専念

田原本町地域クラブ活動（予定）

対象者 田原本町に在住する中学生

指導者 地域の指導者

活動頻度 土・日曜日・祝日のうち週1回

時間 1日あたり3時間以内

場所 町内の中学校や町の施設

参加費 活動費が必要となる予定

※指導者報酬・保険料など（金額未定）